

令和5年度職員採用試験 最終合格者（採用予定者）の皆さんへ

皆さんこんにちは！仙台市人事委員会事務局からメールマガジンをお送りします。

今回のメルマガでは、

- ◆先輩職員（土木職）インタビュー
- ◆職員の通勤事情 をお届けします！

1. 先輩職員インタビュー

今回は、建設局道路計画課の後藤 雄太さん（土木職入庁14年目、在課1年目）にお話を伺いました。

職種に関わらず参考になるお話があると思いますので、是非最後までご覧ください。

Q1. 入庁してからの異動歴を教えてください。

- 平成22年4月～平成25年3月 水道局管路整備課
- 平成25年4月～平成28年3月 復興事業局移転工事課
- 平成28年4月～令和2年3月 都市整備局復興まちづくり課
- 令和2年4月～令和5年3月 まちづくり政策局定禅寺通活性化室
- 令和5年4月～ 建設局道路計画課（都市整備局都心まちづくり課兼務）

Q2. 現在の職場の職員構成（人数や職種の割合など）を教えてください。

建設局道路計画課は、20名の職員が在籍し、土木職が18名、事務職が1名、会計年度職員が1名となっており、土木職が中心の職場となっています。世代としては、土木職18名のうち、30代が9名、40代が6名、50代が3名となっており、30～40代の中堅職員が多い職場となっています。

Q3. 現在携わっている事業（業務）の内容と、あなたが担っている役割を教えてください。

定禅寺通や勾当台公園周辺の道路再整備に係る業務に携わっており、具体的な整備内容の検討と整備に向けた庁内の関係部署や外部の関係機関等との調整を担当しています。さまざまな方々との調整が必要な業務であり、係内の他の職員と協力しながら業務を進めています。

Q4. 始業から退庁までの一日の仕事の流れを教えてください。

- 8:30～9:00 メールチェック
- 9:00～10:00 係内打合せ
- 10:00～12:00 外出・関係機関打合せ
- 12:00～13:00 昼休憩
- 13:00～14:00 事務作業（問合せ対応）
- 14:00～16:00 設計業者と打合せ
- 16:00～17:00 課内打合せ
- 17:00～17:15 事務作業（打合せ資料・議事録作成）

※翌日以降の予定を踏まえ、必要な作業を終えてから退庁

Q 5. 仕事にやりがいを感じるのとはどんな時ですか。

土木職は、施設等の整備やまちづくりに関わる機会が多く、まちの姿を変える仕事に携われることにやりがいを感じています。整備等にあたっては、市民や関係者の方々に影響を与えることもあり、さまざまな意見をいただく中で調整を行うのは非常に苦労することもあります。それらを取りまとめて事業を前に進められたときは達成感があります。

Q 6. 職場デビューしてから1～2週間の職場での様子を教えてください。

職場デビュー後は、まず水道局に配属となった職員向けの研修があり、水道局の仕事の概要について説明を受けました。また、配属先である管路整備課では、工事担当として必要になる基準等の資料を渡されました。はじめは具体的な業務のイメージができませんでしたが、先輩職員に現場へたくさん連れて行ってもらい、現場を見ながら色々と教えてもらったことで少しずつ理解することができました。

Q 7. 実際に働いてみて、入庁前に抱いていたイメージと違うと驚いたことはありますか。

驚いたというほどではありませんが、部活動など、職場における業務以外の（プライベートの）活動も行っている方が思っていたより多いと感じました。私も入庁後すぐに水道局のサッカー部に入りましたが、仕事のリフレッシュに加えて、庁内に知り合いが増えたことで、仕事のやりやすさにもつながりました。

Q 8. 学生時代に学んだことが、今の仕事に役立っていると感じることはありますか。

これまでの職場では、大学で学んだ土木工学の知識を常に使うということはありませんでしたが、道路の整備計画を策定する際には、交通計画や交通工学、構造物の設計の際には構造力学や地盤工学、土質力学などの知識が必要となることがあります。調べれば思い出せる程度のレベルで構わないので、学生時代に学んだ知識を覚えていると役に立つことがあると思います。

Q 9. 合格してから入庁するまでの間、どのように過ごしていましたか。また、その時期にやっておくといいこと、やっておけば良かったと思うことはありますか。

修士論文の提出までは研究中心の生活を送っていましたが、息抜きに行きつけのお店に顔を出して、お店のマスターや常連さんとの会話などを楽しんでしました。その当時のお店のいくつかには今でも通っています。

論文提出後は、大学の友人と集まったり、旅行に行ったりして最後の学生生活を楽しみました。

Q 10. 最後に、合格者へのメッセージをお願いします。

合格おめでとうございます。

公務員として働くことには、期待とともに不安もあると思いますが、職場には頼りになる上司や先輩職員がたくさんいます。

一緒に学びながら仙台をよいまちにしていく仕事ができることを楽しみにしています！

.....

2. 職員の通勤事情

入庁したらどんな生活が待っているのか、楽しみでもあり、ちょっとした不安も高まってきているのではないのでしょうか。今回はそんな疑問や不安を少しでも解消するために、先輩方へアンケートを行い、その中から「職員の通勤事情」をご紹介します。よろしくお願いいたします。

Q 1. 普段の通勤手段を教えてください。

※先輩職員 60 名のアンケート結果から集計しています（複数回答あり）。

地下鉄（37 名）／車（22 名）／徒歩（21 名）／自転車（14 名）／JR（13 名）／バス（6 名）

→アンケートで最多数だったのが仙台市営地下鉄です。JRやバスから地下鉄へ乗り継ぐ方、自転車で最寄りの地下鉄の駅まで行く方などさまざまですが、地下鉄沿線にお住まいの方も多ようです。また、自宅から職場まで徒歩圏内という方もいるようですね。なお、車通勤する職員に対しては、距離に応じて通勤手当が支給されますが、駐車場の確保などは各自で行う必要があります。

Q 2. 通勤時間はどのくらいですか。

1 時間半～1 時間（9 名）／30 分～1 時間（30 名）／15 分～30 分（17 名）／15 分未満（3 名）

→ほとんどの方が 30 分～1 時間で通勤されているようです。また、自宅から職場までは近いけれども、保育所への送迎があるため少し通勤時間がかかるという方もいらっしゃいました。自宅の場所や配属先にもよるかと思いますが、ぜひ参考にしてみてください。

.....
※このメールは、令和 5 年度職員採用試験に最終合格した方で、メールアドレスを登録いただいた方に配信しています。